

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>	中国語ⅡA [文法・文化理解] C209 Intermediate Chinese A [Grammar, Cross-cultural understanding]					担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 松江 崇				
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	金3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
<p>本授業は中国語の文法項目の習得を中心とする授業である。</p> <p>簡明な中国語で書かれた中国語の歴史に関する対話形式の文章を読解することにより、初級中国語で学んだ語彙・文法・発音についての基礎知識を確認しつつ、中国語による表現のために不可欠な文法事項を習得することを目的とする。併せて、古代から現代に至る中国語の歴史的変遷に関する基礎知識を身につけることも意図している。</p>											
【到達目標】											
<p>中国語表現のために必要不可欠な文法事項を習得し、受講者自身の意見を簡単な中国語で表現できるようになる。また中国語の歴史的変遷に関する基礎的な事項を理解し、中国の言語・文化に対する理解を深める。</p>											
【授業計画と内容】											
<p>教員が作成した中国語の歴史に関する対話形式の文章をテキスト（原則としてピンイン付き）として、受講者が毎回決められた範囲について予習を行い、授業中に日本語訳を発表するかたちで授業を進める（担当箇所の音読も求められる）。教員は、テキストにみえる文法事項（常用語彙項目も含む）についての詳しい解説を行うと同時に、それらを実際に用いた中国語表現の具体例を紹介していく。また、授業ではテキストの内容に関する補足説明をも行っていく。</p> <p>テキストの具体的な内容は、「中国語はどの言語と親縁関係にあるのか」、「中国語における時代差はどのようなものか」についてであり、各部分を大凡7回の授業で読み終える。なお、フィードバック方法は別途連絡する。</p>											
【履修要件】											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
【成績評価の方法・観点】											
<p>原則として期末試験70%、平常点30%で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。平常点については、日本語訳の正確さ、発言の積極性等を基準とする。期末試験は、主としてテキストの日本語訳および文法事項（語彙項目を含む）の正確な理解、テキストの内容に関する知識を問うものとする。</p>											
【教科書】											
プリントを配布する（原則としてピンイン付き）。											
【参考書等】											
（参考書） 授業中に紹介する											
【授業外学修（予習・復習）等】											
必ず毎回決められた範囲を予習（日本語訳作成・発音練習）して出席すること。											
【その他（オフィスアワー等）】											
毎回の授業に必ず中日辞典を持ってくること。											